

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 8 陣の記録

映画・芸術交流 対象国：ミャンマー

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、ミャンマーの映画・芸術関係の大学生と社会人 10 名が 2018 年 10 月 23 日～10 月 30 日の日程で来日しました。

一行は、「映画・芸術交流」をテーマに、東京都内において、日本の歴史や映画・文化等について学びました。その後、千葉県を訪問し、映画のロケ地、地域産業の視察、自然や伝統文化との触れ合い、ホームステイ等を通して、広く日本についての理解を深めました。また、各々の関心事項やプログラム体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】ミャンマー 10 名

【訪問地】東京都、千葉県

2. 日程

- 10月23日（火） 来日、【オリエンテーション】
- 10月24日（水） 【文化視察】 高德院（鎌倉大仏）
【日本理解講義の聴講】 講師：東京藝術大学大学院映像研究科
講師 横山 昌吾 氏
- 10月25日（木） 【文化視察】 浅草寺、森美術館「TOKYO CITY VIEW」
【テーマ関連の視察】 国立映画アーカイブ館内、森美術館
「カタストロフと美術のちから展」、東京国際映画祭会場周辺
- 10月26日（金） 東京都から千葉県へ移動
【表敬訪問、地域概要の聴講】 鴨川市
【テーマ関連の視察】 映画ロケ地（大山千枚田）
【ホームステイ】 千葉県鴨川市
- 10月27日（土） 【ホームステイ】、【地域住民・関係者との歓送会】
【視察】 大山千枚田、【文化体験】 日本舞踊、太巻き作り
- 10月28日（日） 【文化体験】 明光山神蔵寺（仏教概要の聴講、浴衣着付、茶道）
【地域産業視察】 鴨川シーワールド
- 10月29日（月） 千葉県から東京都へ移動、【視察】 お台場、【成果報告会】
- 10月30日（火） 帰国

3. プログラム記録写真

	
10月24日【文化視察】高德院 (鎌倉大仏)	10月24日【日本理解講義の聴講】
	
10月25日【文化視察】浅草寺、仲見世	10月25日【テーマ関連の視察】森美術館 「カタストロフと美術のちから展」
	
10月26日【表敬訪問、地域概要の聴講】 鴨川市	10月26日【テーマ関連の視察】 映画ロケ地（大山千枚田）
	
10月26日～27日【ホームステイ】	10月27日【地域住民・関係者との歓送会】

	
10月27日【文化体験】太巻き作り	10月28日【文化体験】明光山神蔵寺 (浴衣着付)
	
10月28日【地域産業視察】 鴨川シーワールド	10月29日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 映画関係者（映画監督）

日本に実際に来てから日本と日本人が大好きになりました。来日当初から日本人の活き活きしている姿、規則正しさ、キレイ好きなどが印象的でした。東京は世界で最も発展・繁栄している都会の一つですが、発展とともに緑を計画的に維持していることに大変感心しました。東京藝術大学大学院映像研究科及び国立映画アーカイブを視察出来て、映画監督である私は知識が増え、大変良い経験となりました。日本のきれいな景色、生活風景を背景に、日本・ミャンマー関連の映画を作ってみたくなりました。鴨川市での経験も忘れられません。涼しい気候、きれいな景色、素晴らしい海岸線に加え、ホストファミリーと出会えたことは大変幸運なことでした。ホストファミリーと日常生活を一緒にし、畑仕事、ヤギの散歩、餃子・寿司づくり体験、茶道体験など大変貴重な思い出になりました。鴨川棚田の夜祭にボランティアとして参加できたことも光栄に思いますし、大変きれいな景観でした。鴨川シーワールドのシャチのショーも楽しく拝見しました。東京都・鴨川市の都会及び田舎の様々な施設を視察出来たことは私達にとって思い出に残る、有益で充実した滞在となりました。

◆ 映画関係者（映画編集者）

東京藝術大学大学院映像研究科の視察では日本映画の歴史を勉強出来ました。歴史的な資料を維持管理していることを学ぶとともに、映画についての活動・勉強ができる大学であることを知りました。国立映画アーカイブでも、日本映画の歴史的な資料・証拠を計画的に維持管理しているのを拝見しました。鴨川市の棚田(大山千枚田)では、希少種生物・絶滅危惧種生物を保護している活動を学びました。過疎化した地域の課題

解決法が素晴らしいと思いました。地域の持っている資源を活かし、地域の課題も地域資源と考え、地域の抱えている問題を逆に利用し、ネガティブをポジティブに変える方法でした。ホームステイプログラムは、特に良かったです。日本人の温かいおもてなし、親切さを感じました。

◆ 映画関係者（映画編集者）

国立映画アーカイブ及び森美術館が私の一番好きな訪問先でした。私の現職である映画の仕事に関する知識や刺激をいただきました。国立映画アーカイブでは、母国ミャンマーでまだ実現していない、収集・保存・公開仕事を計画的にしている事が印象的でした。森美術館には興奮しました。東京藝術大学大学院映像研究科でのセミナーでは多くの知識をいただきました。日本の映画歴史を深く理解できましたし、大学の先生方に憧れの念を抱きました。ホームステイは、二度と得られない経験として心に残りました。日本の文化・習慣を近くで学びながら、自らも参加できたので友情がより深まりました。ホストファミリーのお母さんはとても温かい方です。ホームステイは一番印象的なプログラムとなりました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

朗らかな人柄の方が多く、和やかに時を過ごしました。初日の夕食は若干緊張気味でしたが、2日目には随分、落ち着いた様子でした。食事の際には細やかな気配りをしてくださり、お手伝いもしてくださり、とても楽しかったです。

◆ ホストファミリー

とても気持ちの良い人たちでした。会話を少しでもしようと、日本語会話帳を使って話しかけてくれました。書道では、日本語を一生懸命書きましたが、書き終わると作品を見て笑っていました。また、4時間半程度、浴衣を着ていましたが、帯をほどくと楽になり、笑っていました。

6. 参加者の対外発信

 May Thazin Leiさんが写真8件を追加しました た 一 場所: Kamakura Big Buddha 10月24日 21:14 - 東京都東区 港区 - Day_2 in Tokyo #Kamakura #JENESYS2018 #JICE #JAPAN #MYANMAR	 Gu GueさんはKaung Han Thorさん、他2人と一緒です。 10月25日 17:50 #DAY-3 TOKYO JAPAN #JENESYS2018 #JICE #JAPAN #MYANMAR 翻訳を見る
鎌倉大仏の視察について	浅草寺と仲見世の視察について

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 Problem solving/ way of thinking KAMOGAWA RICE TERRACES SYSTEMATIC DOCUMENTATION FILM ARCHIVE NATIONAL STAGE ORGANIZATION "KIYOSU CONFERENCE" FILM LOCATION RURAL AREA PEOPLE OBASAN HOUSE HOME STAY CULTURE HOSPITALITY TRADITIONAL FOOD LANGUAGE LIFE STYLE FESTIVAL	訪日中、日本の伝統文化、日本の海山、自然の美しさ、日本の生活・社会、日本の映画シーン、芸術について、グループ・フェイスブックで、発信しました。 また、「Knowledge Sharing and Photo Exhibition Event」と題した行事として、JENESYS2018 来日中に撮った写真の展示会を行います。また、国立文化・芸術大学の大学生、Wathann-FAMU Workshop（ワッタンFAMU〈Film and TV School : チェコの映画とテレビの学校〉ワークショップ）の学生、他の映画製作者たちを招待し、訪日中に撮影したビデオを見せながら、日本での経験についてプレゼンを行います。
--	---